

2006 年第 1 回 IEEE 広島支部理事会議事録

日時：2006 年 3 月 10 日（金） 13:30-16:15

会場：広島インテリジェントホテル オフィスセンター第 5 会議室

出席者：土屋，小西，榊原，石田，甲本，中西，平林，由井菌

委任状提出者：寺内，角南，大野

議事内容

1. 広島支部の年間全体計画について

- ・理事会：5 回開催することを確認。次回は 4 月に松江で開催。なお、今後は役員・理事が出席しやすいように土・日曜日の開催も考慮する。
- ・次期役員選挙：2007/2008 年役員選挙を実施する。
- ・第 8 回 HISS: 広島地区で広島市立大学をホスト校として実施する。
- ・講演会：特別講演会（1/12 総会後に実施済み）。今後、理事会終了後に極力、講演会を設定する。

2. 各 Committee 年間計画について

各 Committee Chair から年間計画が提案され審議された。

- ・Award Committee（石田 AC Chair）：Award に関する規程整備を行う。
- ・Fellow Committee（土屋 FC Chair）：理事の Senior Member 申請を支援する。
- ・Membership Development Committee（小西 MDC Chair）：Senior Member 候補をリストアップして支援を強化する。Member, Student Member 数の増加策も考慮する。
- ・Student Committee（由井菌 SC Chair）：IEEE 広島支部 Student 会員支援制度を開始。HISS 運営の補助，Student Member の勧誘を行う。

なお，Student 会員支援制度の対象者を「IEEE が関連する国際会議で発表する学生など」に変更する。また，支部ホームページでの案内に，申請様式を加えると共に，申請後に支部において申請内容の確認などの過程があることを明記する。

3. 次期役員選挙について

Bylaws 第 5 条「役員 の 推薦 と 選挙」を確認した。

4. 第 7 回 HISS の総括と今後の方針について

- ・第 8 回 HISS の予算総額を 150 万円程度とする。
- ・HISS 予算は理事会で確保する。
 - * 確保の内訳：JC への支部支援金申請 50 万，支部予算からの支援金 30 万円 ± α (α ：予算総額調整用)，HISS 投稿料等の収入見込み 40-50 万円，助成金申請 30-40 万円
 - * 助成金申請は役員・理事で分担申請する。
 - 中国電力技術研究財団への申請：石田理事
 - 各大学への助成申請：各役員・理事
- ・実行委員会
 - * 実行委員の人数：ホスト校 10 名程度以内，その他は 3~5 名程度，総勢 35-40 名程度とする。

- *各校の実行委員候補者（氏名，電子メールアドレス）を4月14日（金）までに支部長に報告する。
- *第1回 HISS 実行委員会は5月20日（土）に広島市立大学にて行う。実行委員の招集は支部長が行う。第1回実行委員会をすべての開始点とし，この委員会において正副委員長・担当などを決定する。ただし，実行委員長候補者からは予め内諾を得ておく。
- *実行委員間で交わされるメールは役員・理事に CC で送信する。
- ・以下を今後の検討課題とする。
 - * HISS 研究賞の趣旨を踏まえ，審査評価項目や審査方法の見直し
 - * 論文査読実施の可否，行う場合は査読の趣旨，査読委員会の構成など
 - * HISS 各賞（功労賞，貢献賞）の選考方法

5. その他

- ・ IEEE 東京支部 50 周年記念式典（2006. 3. 1 14:00-17:00 パレスホテル）
中西理事（記念式典実行委員）から報告があった。
- ・ SMC Section Chapter Chair を理事会メンバーとしてはどうかとの支部長提案があり，審議の結果，承認された。
- ・ The 2006 International Symp. on Intelligent Signal Processing and Communication System (ISPACS 2006, 2006. 12. 12-12. 15 米子コンベンションセンターにて開催)に関する協賛依頼申請（申請者：鳥取大学 伊藤良生 氏）について中西理事から説明があり審議の結果，承認された。

以上